

フランクフルト日本人国際学校・音楽科通信

♪ ぽこ あ ぽこ ♪

♪ 2023年度 *poco a poco* ♪

Nr. 19 2024年1月10日(水)

文責:プファイル・辰巳

本年も、どうぞよろしくお願ひ致します!

2024年の幕開けです。今年の干支は「辰」ですね。私は辰年生まれではありませんが、姓が「辰巳」なもので、なんとなく親近感を持てしまいます。

残念ながら日本では、能登半島の大地震に、航空機事故、そして相次ぐ大火災など暗いニュースの多い年明けとなりました。この後は「辰(龍)」が天に昇るごとく、2024年も上昇気流に乗って、上り調子になることを祈っています。

また、今年も閏年でもありますから、オリンピックが開催されます。前回の東京オリンピックはコロナ禍で混乱しましたが、今回のパリ大会はどうでしょうか。スポーツの祭典が平和への道を開いてくれるとよいのですが。何はともあれ、良い1年になりますように。短い3学期ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。



～ 離陸準備 ～

3月の学年末は「巣立ち」の時期。小学部6年生や中学部3年生だけではなく、たくさんのお友だちが世界に羽ばたいていく時期でもあります。3学期はその離陸準備の大事な時期です。授業日数としては50日ほどの短い期間ですが、学年のまとめをしたり、卒業式の準備をし

たり、計画的に進めていかなければいけません。

冬休み気分から頭を切り替えて、まずは学校生活のリズムを早めに取り戻しましょう。朝夕の暗さはまだまだ続きますが、早寝早起きを心がけ、寒さに負けない体力づくりを心掛けたいものです。

各教科の持ち物はそろっていますか。「あれが見当たらない。このプリントを無くし

てしまった。」というような状態ではなく、必要なものが必要な時に取り出せるように身の回りを整えて、授業に臨むようにしましょうね。音楽のファイルやリコーダー、鍵盤ハーモニカもお忘れなく!

音楽こぼれ話 <Kuhhirtenturm

～ Hindemith Kabinett>

フランクフルトと所縁のある作曲家の第3話は、パウル・ヒンデミットについてです。

ヒンデミットは1895年にフランクフルトの隣町ハーナウに生まれた作曲家です。ヴィオラ、ヴァイオリン、クラリネット、ピアノそして指揮・と、多彩な演奏家でもありました。

そのヒンデミットが1923年から居を構えていたのが、今もフランクフルト・ザクセンハウゼン地区に残る Kuhhirtenturm という塔でした。これは中世の要塞の一部でしたが、19世紀の終わりから住居に改装され、使用されていました。ヒンデミットは、その後ベルリンに引っ越すまで、この住居に約5年間住んでいました。ヒンデミット自身がベルリンに引っ越した後も、1943年までは彼の母と妹がここに住んでいたそうです。第2次世界大戦中に破壊されたこの塔は、1950年に再建され、ユースホテルの一部としての「青年の家」になっていました。

2010年には、フランクフルト市によって塔は再度リノベーションされ、ヒンデミット協会の要請により、2011年から「Hindemith Kabinett」として生まれ変わりました。ヒンデミットに関する展示物を見たり、ヒンデミットの作品を聴いたりすることができます。また上階のホールでは、室内楽のコンサートや講演会が催されることもあります。現在はザクセンハウゼンの居酒屋街の端っこに位置する博物館になりました。

開館時間は、日曜日の11～18時のみと短いですが、興味のある方は一度訪ねてみてください。

Hindemith Kabinett im Kuhhirtenturm

Große Rittergasse 118

60594 Frankfurt am Main

www.hindemith.info/de/kabinett

